

形成外科後期研修プログラム

種類：：一般形成外科専門医養成コースを基本として、以下の研修コースがある

1. 一般形成外科専門医養成コース
2. 手の外科研修コース
3. 熱傷専門医研修コース
4. 形成外科基本手技研修コース

1. プログラム名：一般形成外科養成コース

2. 指導責任者：渡辺克益(形成外科学主任教授)

3. 主な指導者：松村一(形成外科教授)、菅文章(八王子医療センター形成外科教授)

4. プログラムの概要(目標、特色など)

形成外科的疾患の周術期管理や手術助手を経験して、最終的には指導医の下で執刀します。(研修中は上級医0)監督下での執刀となります。)

プログラムにしたがった研修を行うことで、形成外科専門医受験可能な症例数が経験可能です。

主な研修施設は

東京医科大学病院(都心の真ん中の総合病院 形成外科学会認定施設)、
東京医科大学八王子医療センター(郊外にある地域中核病院 形成外科学会認定施設)、
佼成病院(都市型一般病院 形成外科学会研修関連施設)、
海老名総合病院(地域中核病院 形成外科関連施設)、
船橋医療センター(地域中核病院 形成外科関連施設)、
横浜市立病院救急救命センター熱傷班(形成外科学会認定施設内の都市型熱傷センター)
です。

5. 対象者：初期研修終了者で、目録形成外科学会専門医を目指す医師

6. 年度毎の研修内容注：5年日以降は、研修内容が異なります。

基本は認定施設研修を2年間、教育関連施設研修を2年間経験し、5年目に専門医試験を受験します。

1年目

形成外科の外来診察・診断法、周術期管理と基本手技の学習(術前準備、手術体位のセット、基本的な手術器械操作法)、部分的な執刀(熱傷の植皮術、皮弁移植、瘢痕形成術、頬骨骨折)、鼻骨骨折・顔面や体幹の小さな良性腫瘍の執刀

2年目

. 上記修練を引き続き行う。マイクロサージャリー手技を習得する(顕微鏡操作ができる環境が用意されています)。

医学生、初期研修医・1年目の後期研修医を上級医とともに指導する。

3年目

四肢の外傷や先天奇形、口唇裂・口蓋裂などの顔面奇形、塚田式全層植皮術、各種皮弁移植、マイクロサージャリー手術(切断指再接着、遊離複合組織移植)の部分的な執刀医となる。医学生、初期研修医・2年目以下の後期研修医を上級医とともに指導する。

4年目

指導医とともに、各種形成外科手術の執刀医となる。医学生、初期研修医・2年目以下の後期研修医を上級医とともに指導する

5年目:日本形成外科学会専門医試験を受験する。

7. その他のコース

<手の外科研修コース>: 形成外科の専門医取得後に手の外科専門医を目指すコース
形成外科専門知識における手の外科手技を確実に学習し、形成外科専門医資格取得と合わせて日本手の外科学会専門医取得を目指す。

<熱傷専門医受験コース>: 形成外科の専門医取得後に熱傷専門医取得を目指すコース。
形成外科専門知識における熱傷の局所・全身管理を確実に学習し、形成外科専門医資格取得と合わせて日本熱傷学会専門医資格取得を目指す。

<形成外科基本手技コース>: 出産や子育てなどに対応し、時間をかけて形成外科の基本手技(マイクロサージャリーや頭頸部再建を必修としない)を習得し、専門医を目指すコース。
(採用数に制限あり。スタッフとなるには必要技術の評価ならびに一般的就業形態への移行が必要となります。)